

まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に関するパブリックコメント結果

■意見募集期間 平成27年12月25日～平成28年1月25日

■意見数 2件

■意見の提出方法 来庁、ファクシミリ

■意見の概要と町の考え方

意見の概要	町の考え方
<p>V 政策と基本目標〈P4〉</p> <p>Q1：総合戦略を議論する前に、町の現状を近隣市町と比較し、現実を勅旨する必要がある。</p> <p>Q2：那珂川町に住み、生み育てるメリットは何か？</p>	<p>A1：本総合戦略（案）は、近隣市町の主な取り組みを把握したうえで、本町において、限られた予算の中で遂行可能な取り組みをまとめた内容となっています。本総合戦略は今後毎年評価検証を行い、必要に応じて見直しを行うもので、本町の現状にあった取り組みが遂行できるよう努力する考えです。</p>
<p>VI 施策の基本方針と主な事業及びKPI</p> <p>2. 新しいひとの流れをつくる</p> <p>(2) 定住・移住の促進</p> <p>戦略15 地域おこし協力隊事業 〈P10〉</p> <p>Q3：本戦略における『地域おこし協力隊』の位置づけは何か？</p> <p>3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>(1) 若者の結婚支援</p> <p>戦略20 結婚促進事業〈P12〉</p> <p>Q4：今までの結婚相談所の取り組みでは、成婚者が1から2組と成果が乏しい。今後は意欲ある結婚相談委員を公募するべき。</p>	<p>A2：自然に囲まれた環境で生活することで、自然の恩恵に触れられることと考えます。また、都市部に比べ便利さはありませんが、不便だからこそ、それを補う考えが生まれ、人と人との助け合い精神が育まれるものと考えています。今後は、町に暮らす人々が、みんなでふるさとの町を守るという意識がもてる協働のまちづくりを推進する考えです。</p> <p>A3：地域おこし協力隊が町民と身近に接し活動することで、地域の活性化が図れるとともに、地域おこし協力隊自らの定住を促進するものです。</p>
<p>本総合戦略（案）全般</p> <p>Q5：本総合戦略（案）で時代に合った町づくりができるとは正直誰も思っていないはず。若者の流出が回避できる</p>	<p>A4：現在町では、公募及び推薦により結婚相談員を委嘱し結婚相談活動を実施していますが、成婚者が一組でも多く出るよう今後とも努力する考えです。</p> <p>A5：本総合戦略の策定には、可能な限り「産</p>

とはもはや思っていないはず。
若い世代（20代30代）から、「その未来に身を置く切実な生の意見」をたくさん集め、先進的な意見を持った人（町外在住者を含む）、話を膨らまし広げ盛り上げる人（見識者）、それを温故知新的な意見で説く人、そして、最終的なおとしどころを読み取って仕切れる人、を選抜し、「いかに、これまでに無かったアイデア・欲しかった答えを引き出すか」「いかに、近隣とは違うビジョンを掲げ先進的発展性のある行政ができるか」を鑑みて検討してほしい。

業界」「市町村や国の関係行政機関」「教育機関」「金融機関」「労働団体」「メディア」等で構成する推進組織で審議・検討することが必須とされ、かつ、議会との協議も必要とされています。また、平成28年3月までに策定することが義務付けされていることから、町の限られた予算の中で遂行可能な取り組みをまとめた本総合戦略（案）となります。

なお、本総合戦略は、毎年評価検証を行い、必要に応じて見直しを行うもので、今後それを担う同推進組織の人選の際には、意見に謳われている人材の確保に努めるとともに、効果的な行政が遂行できるよう努力する考えです。

■意見により案を修正した内容

案の修正はありません。